

にほんご

令和 7年 11月 12日
港区立 筈小学校
日本語学級だより NO. 7
Tel 03 (3408) 2356 (直)
校長 矢部 洋一

ことば 「言葉のトンネル」

10月29日(水)に、展覧会に向けた作品作りを行いました。自分のルーツのある国の言葉で好きな言葉を1つ選んで画用紙に書き、選んだ言葉の雰囲気合うように飾り付けをしました。作品作りを通して、自分のルーツのある国を大切に思ったり、お互いの国を尊重したりする気持ちをもってもらえたら嬉しく思います。

子どもたちは好きな言葉を何にしようか真剣に考え、自分が思い描いた通りの作品ができるように集中して作品作りに取り組んでいました。出来上がった自分の作品を見て「きれいにできた」「かっこいいと思う」といった満足気な言葉や、友達の作品を見て「いい言葉ばかりで嬉しい」という声も聞かれました。

それぞれの言語での素敵な言葉が集まった「言葉のトンネル」。展覧会でたくさんの方に見ていただくのが、とても楽しみです。



▲2年生と3年生が、司会、始めの言葉・終わりの言葉を担当しました。



▲事前に考えた下書きを見ながら、真剣に作品作りに取り組んでいます。

がつ ぎょうじ しちごさん 11月の行事～七五三～

子どもの成長を感謝し、将来の無事を祈って、お参りする行事です。11月になると、神社などで、着物を着て、千歳飴をさげた親子の姿がたくさん見られるようになります。男の子は3歳と5歳、女の子は3歳と7歳でお祝いをします。「七、五、三」の数で祝うのは、「奇数は縁起がよい」という中国の考え方からきたものです。千歳飴は、紅白の細長い飴です。千歳には「千年」という意味があります。飴を作るときに引っばって伸ばすことから、「長生きできるように」という願いが込められています。



▲晴れ着を着て、お祝いします。

▼千歳飴と、その袋です。

